

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市栗生児童館
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 26,150人(前年度比 111.9%) 令和5年度 23,363人 令和4年度 20,559人
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 52,402千円 (44,362千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した丁寧な育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
「笑顔あふれる児童館」「地域とつながる児童館」を目標として掲げ、学校や地域の皆様の協力の下、地域の一員として「地域をつくる子どもたち」を目指して取り組んでいます。 未就学児の子育て支援の事業として0～1歳児の親子を対象とした「ほっぺちゃんクラブ」では、落合保育所と連携した「保育士さんと話そう」を、2～3歳児親子を対象とした幼児クラブでは、宮城総合支所保健福祉課と連携した「保健師さん栄養士さんと話そう」を実施し、子育て中の親子の支援を行いました。毎週火曜日には、乳幼児向けに職員が交代で手遊びやパネルシアターなどの簡単な遊びを行う「あいあいひろば」を開催しています。乳幼児に向けたあそび場としての認知度が高まり、乳幼児親子の来館が増えています。 落合市民センター、広瀬文化センターと連携したわくわくキッズアカデミーでは、白Aの映像パフォーマンスに驚き、親子で難しい技に挑戦するなど得難い体験ができました。 みやぎ龍神太鼓演技団をお招きしての「あいあいコンサート」では、子どもたちが伝承太鼓のすばらしさに触れ、太鼓を体験した子どもたちを中心に太鼓クラブが作られました。太鼓クラブはお正月あそび等の館の行事や地域の福祉施設で手作りの太鼓を演奏し、地域の方々から喜ばれています。 今年子どもたちの企画会議として発足したあいあいリーダーズでは、自分たちの考えを出し合い、行事の企画・運営をしています。 「なんでも発表会」では自分たちで進行・運営をし、さらに「児童館運営懇談会」にも参加して自分たちの考えを発表しました。その結果、地域の皆様の協力で、太鼓や望遠鏡を提供いただき、子どもたちは大喜びでした。 児童クラブでは、子どもたちが自ら企画し、本の読み聞かせ会、将棋大会、オセロ大会、なわとび大会などを実施し、達成感、自己肯定感を高めています。今後も子どもたちの「やってみたい」を形に支援していきます。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、工作や運動など、様々な体験プログラムを提供する「みんなあつまれ！あいあいDAY」を定期的に開催し、多くのこども達が参加している。プログラムへの興味関心から児童館を知ったり、参加後に自由来館で利用することも増えるなど、児童館の認知度が向上している。 子育て家庭支援事業においては、登録制の幼児クラブや職員による親子遊びを楽しむ「あいあいひろば」を定期的に開催している。乳幼児親子に豊かな遊びを提供すると共に、情報共有や仲間作りをするための交流の場になっており、保護者同士が誘い合って来館するなど利用者の増加につながっている。 地域交流推進事業においては、地域の複数のお祭りに児童館として参加したり、地域の方々の協力や指導を受けて行事を実施する等、地域に根付いた積極的な関わりを継続して行っている。また2月の児童館運営懇談会に、児童館の生活の仕方や遊び、行事の企画運営について話し合う「あいあいリーダーズ」のこども達が参加した。地域の関係機関の方々に児童館での活動を紹介したり、生活や遊びに対して考えていることを発表するなど、地域と連携した協力体制のもと、こどもが地域と関わりながら育つ取り組みを行っている。 放課後児童健全育成事業においては、こども達の様々な思いや意見を反映させながら、それぞれが主体的に遊びや生活ができるよう支援している。また、今まで狭いために使用していなかった館庭を、こども達が集団遊びをしたり草花や虫などの自然物に触れて遊ぶことができるよう環境を整備した。こどもの心身の健康増進につながり、興味関心を広げながら豊かな感性を育む機会になっている。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課